

🌸 武久源造レクチャーコンサート～適正律を巡って～

◆ 4月19日 (日) 14:30~16:30

4種の鍵盤楽器を使用して、J.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集」→「適正律クラヴィーア曲集」を紐解く。

使用楽器：ジルバーマンピアノ、ニューヨークスタインウェイB、フレミッシュチェンバロ、ワルターモデルフォルテピアノ

「バッハがその半生をかけて書き上げた平均律、これは本来適正律と訳すべき言葉です。この曲集は演奏解釈上の様々な神秘を秘めています。テンポ、調律法、表情、修辞学…、本講演では、これらの問題にスポットを当てながら、バッハが我々に語りかける適正律の秘密を解き明かして行きます。」

——— 武久 源造

武久源造：1983年、東京芸術大学大学院修了。1984年から国内外で演奏活動を開始、86年より作曲、編曲などを発表。2000年には古楽器グループ「コンヴェルスム・ムジウム」を結成し、指揮・編曲活動にも力を注ぎ、常に新しく、また充実した音楽を追求し続けている。91年よりプロデュースも含め40作品以上のCDをALMRECORDS他よりリリース。その内の半数以上（「鍵盤音楽の領域」(Vol.1~9)、チェンバロによる「ゴルトベルク変奏曲」、オルガン作品集「最愛のイエスよ」、〔世界初〕ジルバーマン・ピアノによるバッハのバルティータ全曲、他）のCD作品が、「レコード芸術」誌の特選盤となる快挙を成し遂げている。02年、著書「新しい人は新しい音楽をする」(アルク出版企画)を出版。NHKその他各局の音楽番組に多数出演。2017年より、バッハの大作「適正率クラヴィーア曲集」の全曲録音を発表、19年8月に完成。絶賛を博する。審査員「国際チェンバロ製作家コンテスト」(1991年、米アトランタ)「古楽コンクール」(97年、2001年、甲府)他多数。

🎵 西方音楽館友の会 今後の主催コンサート

●久元 祐子 モーツァルト ピアノソナタ全曲演奏会シリーズvol.5

2019年9月23日(祝・月)14:30~ コンサート
コンサート後すぐ、公開レッスン

●川口 成彦 フォルテピアノ リサイタル

2019年10月23日(水)近江楽堂 19:00~ チケット完売
10月26日(土)西方音楽館 15:30~ チケット完売

●テレマン「ハンブルク四重奏曲」全曲演奏会Vol.1~ドイツの才人!テレマンとハンブルク~ →受講生募集中!

2019年11月30日(土)14:30~コンサート
コンサート後、リコーダー、チェンバロ&アンサンブルの公開レッスン

演奏:古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」

フラウトラヴェルソ:国枝 俊太郎 バロックヴァイオリン:小野 萬里
バロックチェロ:高橋 弘治 チェンバロ:岡田 龍之介

●高橋 弘治 J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会シリーズ 第1回

2020年2月24日(祝・月)14:30~

●赤ちゃんとお母さんのための音楽会

2019年
9月16日(祝・月)、10月10日(木)、11月4日(祝・月)、12月19日(木)
11:00~11:45



こ・ぼ・れ・話

赤ちゃんが生まれて初めて耳にする音楽は、お母さんがお尻をトントンしながらやさしく歌う「子守歌」であって欲しい。お母さんが、まず、安らかな気持ちで、子育てしてほしい!

中新井紀子

西方音楽館友の会 会員募集

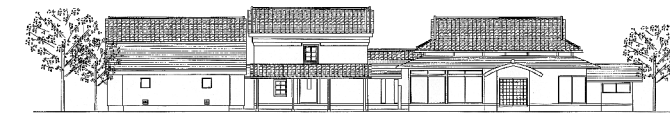
西方音楽館友の会 会員募集(毎年4月が更新の時期です)

A会員:3,000円 B会員:10,000円 S会員:50,000円 G会員:100,000円

それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。

9月1日現在会費を納めている方 A会員:53名 B会員:34名 S会員:1名

西方音楽館友の会運営委員:中新井紀子(西方音楽館館長)、岡田龍之介(チェンバロ奏者)、小川和隆(ギタリスト)
木下大輔(作曲家)、永田美穂(音楽学)、山村多恵子(オカリナ奏者)、高田良久(医師、下野楽遊代表)



2019.9 木洩れ陽の窓から No.21

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601

栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

わらべうた

中新井紀子

子供から子供へと伝えられてきたわらべうた。子供集団が無くなった今、伝える側も、受け手も、居なくなっていました。でも、わらべうたは遊びの宝庫、遊びの知恵がたくさん詰まっています。絶滅してまうにはもったいなく、まずは、子供たちに伝えたくて、わらべうた教室を始めました。

その後、もっと小さな乳児、幼児を抱える母子、父子にも、大変有効な遊びであると確信し、0歳からのわらべうたの企画も始めました。

本来は、子供同士で自発的に遊ぶのがわらべうたですが、それが不可能となった現在、私がガキ大将に代わり、子供たちをわらべうたに巻き込んで遊びます。当初は子供たちだけが対象でしたが、お母さん、お父さんと一緒に遊ぶと、幼児はもちろんですが小学生でもとても嬉しい、ということを見出し、今は、必ずお母さんお父さんも巻き込んで遊びます。

わらべうたは、体と、知恵と、相手を思いやる心を使わないと、楽しく遊べません。なので、現代の子供たちには、とても必要な遊びだと思っています。

先月(8月)、毎月開催している「赤ちゃんとお母さんのための音楽会」について、栃木FMレディオベリーで、お話をさせていただきました。赤ちゃんのお世話真っ最中のお母さんには、赤ちゃんよりもお母さんにリラックスしていただきたく、動き始めた乳児、幼児を育児中のお母さんには、お子さんと一緒に遊べるわらべうたを伝えたくて、また、子育てが大変なお母さんをお父さん、おばあちゃん、おじいちゃんに支えていただきたく、始めた企画。どなたでもご参加いただけます。チェンバロ、フォルテピアノ、ピアノ、小型パイプオルガン、オカリナの音楽に耳を澄ませ、合間に、わらべうたで遊びます。楽器が変わるごとに音色が変わるので、小さな子供たちも、興味津々に聴いてくれます。一番大変なのは、生まれて初めて育児を経験するお母さん。皆で手助けしてあげましょう!

音楽教育的には、わらべうたから機能音声に導くことは大変難しく、そういうことを期待すべきではない、とある時気づきました。しかし非常に簡単な編曲で、4度、5度、3度、2度の響きを、聴く、歌う、ということには大変優れていることがわかりました。機能音声は、ピアノを習っていれば、自然と耳には残るもの。長じて、自覚的に機能音声を学ばばよいこと。それ以前に、もっとプリミティブな状態で、美しい、純正な4度、5度、3度、2度を体験することは、ピアノを用いて機能音声を幼児の段階から学んでしまう事より、もっと大切なのではないか、と思うようになりました。

西方音楽祭では別バージョン「お花見わらべうた」となりますが、それ以外は、毎月1回「赤ちゃんとお母さんのための音楽会」を開催しています。どなたでも、ぜひ、遊びにいらしてください。